

# 1 主な年齢の平均余命

平成23年簡易生命表によると、男の平均寿命は79.44年、女の平均寿命は85.90年と前年と比較して男は0.11年、女は0.40年下回った。主な年齢の平均余命をみると、男女とも全年齢で前年を下回った。また、平均寿命の男女差は、6.46年で前年より0.29年減少した。(表1、表2)

平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女とも悪性新生物、脳血管疾患などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす方向に働いているが、不慮の事故、肺炎などの死亡率の変化が平均寿命を減少させる方向に働いている。特に、不慮の事故の再掲である地震による死亡率の変化が大きく影響している。また、女は自殺の死亡率の変化が、平均寿命を減少させる方向に働いている。(図1)

表1 主な年齢の平均余命とその伸び

表2 平均寿命の年次推移

(単位：年)

年齢	男			女		
	平成23年	平成22年	前年との差	平成23年	平成22年	前年との差
0歳	79.44	79.55	△ 0.11	85.90	86.30	△ 0.40
5	74.71	74.82	△ 0.11	81.19	81.55	△ 0.36
10	69.77	69.85	△ 0.08	76.24	76.58	△ 0.34
15	64.81	64.89	△ 0.08	71.28	71.61	△ 0.33
20	59.93	59.99	△ 0.06	66.35	66.67	△ 0.32
25	55.10	55.16	△ 0.06	61.45	61.75	△ 0.30
30	50.28	50.33	△ 0.05	56.56	56.83	△ 0.27
35	45.47	45.51	△ 0.04	51.69	51.94	△ 0.25
40	40.69	40.73	△ 0.04	46.84	47.08	△ 0.24
45	35.98	36.02	△ 0.04	42.05	42.27	△ 0.22
50	31.39	31.42	△ 0.03	37.32	37.52	△ 0.20
55	26.95	26.98	△ 0.03	32.68	32.86	△ 0.18
60	22.70	22.75	△ 0.05	28.12	28.28	△ 0.16
65	18.69	18.74	△ 0.05	23.66	23.80	△ 0.14
70	14.93	14.96	△ 0.03	19.31	19.43	△ 0.12
75	11.43	11.45	△ 0.02	15.16	15.27	△ 0.11
80	8.39	8.42	△ 0.03	11.36	11.46	△ 0.10
85	5.96	6.00	△ 0.04	8.07	8.15	△ 0.08
90	4.14	4.19	△ 0.05	5.46	5.53	△ 0.07

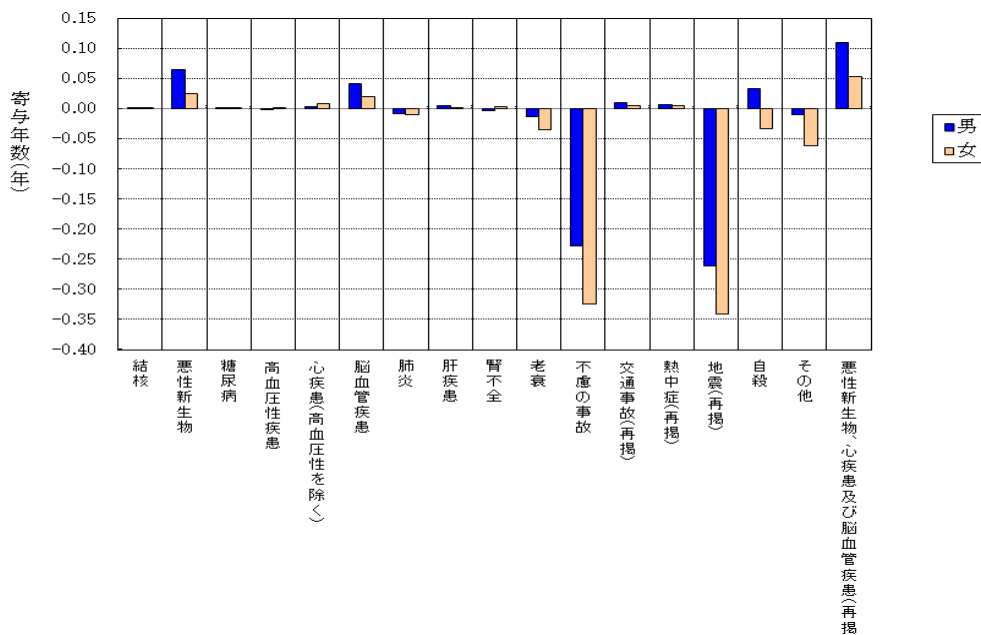
(単位：年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
13	78.07	84.93	6.86
14	78.32	85.23	6.91
15	78.36	85.33	6.97
16	78.64	85.59	6.95
17	78.56	85.52	6.96
18	79.00	85.81	6.81
19	79.19	85.99	6.80
20	79.29	86.05	6.76
21	79.59	86.44	6.85
22	79.55	86.30	6.75
23	79.44	85.90	6.46

注：平成22年は完全生命表による。

注：1) 平成12年以前、平成17年及び平成22年は完全生命表による。  
2) 昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数



注：交通事故、熱中症及び地震は、不慮の事故の再掲である。